



石巻広域クラブ通信

<No.67>

THE Y'S MEN'S CLUBS OF GREATER ISHINOMAKI
CHARTERED MAY28, 2016

YMCA-ISHINOMAKI-CENTER
KyuEikoyochienchinai2-12-3,Okaidokita,
Ishinomaki, 986-0854,Japan

〒986-0854 石巻市大街道北 2-12-3
旧栄光幼稚園 2階 YMCA 石巻センター
電話 090-6252-7970(日野)090-2365-7940 (清水)

2022年3月号

E-mail: gishinomaki@gmail.com

E-mail: kochan-send.2@plum.plala.or.jp

== 2021-2022年度 主題 ==

クラブ会長 日野 峻「絆を深めて、共に喜びをもって活動しよう」
北東部部長 南澤一右(仙台青葉城)「続」変化を楽しみながら新生北東部を創ろう！
東日本区理事 大久保知宏(宇都宮)「私たちは次の世代のために何ができるか？」
アジア太平洋地域会長 大野勉(神戸ポート)「100年を超えて変革しよう」
国際会長 キム・サンチェ(韓国)「世界とともにワイズメン」

<今月の聖句>

「わたしたちは、四方から苦しめられても行き詰らず、途方にくれても見捨てられず、打ち倒されても滅ぼされない」(コリント 二4:8, 9)

<強調月間> CS/ワイズメネット

3月第一例会プログラム

日時 3月25日(金) 18:30~20:30
場所 YMCA石巻センター(旧栄光幼稚園2階)
当番 斎藤 勉・千葉徳正

司会 斎藤 勉

1. 開会点鐘 会長 日野 峻
2. ワイズソング 一 同
3. ゲスト・ビジター紹介 書記 書 記
4. 会長あいさつ 日野 峻
5. 聖句朗読・食前感謝 関川祐一郎
6. 食事・懇談 一 同
7. ゲストスピーチ(千葉様プロフィールは2頁を参照)
スピーカー:一般社団法人 カリタス南三陸
千葉 道生様 テーマ:「Ubi Caritas」
8. 諸報告とアピール
①石巻少年少女合唱団の紹介とアピール 青木副会長
②YMCA・事業委員会報告など
9. ハッピーバースデー 会 長
3/2 青木まりえさん、3/12 小笠原均さん、
3/20 阿部かよ子さん、3/30 木村 麻呼さん
10. ニコニコ(ウクライナ支援募金のために) 会 計
11. 閉会あいさつと点鐘 次期会長 青木まりえ
12. 復興応援歌の練習 全 員

3.11 という日は



石巻広域ワイズメンズクラブ
21-22 会長 日野 峻

この日が近づいてくると、毎年心がざわざわ、そわそわして落ち着かないのです。そして、出来るだけ海が近くないところ、高い建物がないところにいるような自分があります。3.11は、一喜一憂している何気ない日々の暮らし、生かされていることに改めて感謝する日にしています。私たち石巻広域ワイズメンズクラブは、東日本大震災から11年経ち12年目を迎えたこの日、YMCA石巻センター(旧栄光幼稚園2階)にて「3.11 追悼と感謝の集い」を開催させていただきました。これまで数多くのワイズメン、YMCA等の関係者の皆様、機関に支えていただきましたことを再認識した次第です。また、更にやらねばならない使命、役割、スピリッツがあることを再確認する機会となりました。

記念礼拝で高本エリック宣教師様がお話された「壁を壊す神様の愛」というメッセージの中で、人生においても幾多の壁がある、人と人との心の壁を壊す神の愛、感謝と感動、一緒にいることの大切さ、ワイズ=知恵など、

<次ページにつづく>

2月データ/3月内容(3.11追悼と感謝の集い、ウクライナ声明、など)

例会出席	23名	在籍会員数	22名	各種記録	月実績	年度累計
メンバー	9名	月間出席者	8名	スマイル	7,000円	63,354円
ビジター	11名	メーキャップ	1名	ファンド	89,002円	89,002円
ゲスト	1名	月間出席率	41%	BF	0円	0円

会 長 日野 峻
副会長 青木 満里恵
" 石川 光晴
書 記 清水 弘一
会 計 櫻井 美智江
直前会長 大林 健太郎
担当主事 斎藤 勉

●本例会:毎月 第4金曜日(18:30~20:30) ●第2例会(役員会)第2金曜日

<前ページよりつづく>

とても貴重な深い内容のご講話をいただきました。ありがとうございました。

突如として非日常になったあの日、あの出来事から、「犠牲を無にしない」、「風化させない」ようにと願ったのでした。しかし、忘れるなよ！と警鐘を鳴らすかのように、5日後の3月16日23時36分に福島県沖(牡鹿半島の南南東60km付近)を震源地とするマグニチュード7.3、最大震度6強の地震がありました。被害は広範囲にわたり甚大です。余震が続いており、まだまだ予断を許しませんね。

3.11は、あなたにとって何を思い、どのような意味合いをお持ちでしょうか。(了)

2月第一例会報告

日時 2022年2月25日(金) 18:30~20:00

場所 YMCA 石巻センター

出席者 青木満里恵(Z)、大林健太郎、川上直哉、斎藤勉、櫻井美智江、清水弘一、関川祐一郎(Z)
千葉直美(MC)、日野峻
長沼利枝さん(3.11こども文庫の会)

- | | |
|---------------------------|-------------|
| 1. 開会点鐘 | 日野会長 |
| 2. ワイズソング | 一同 |
| 3. ゲスト・ビジター紹介 | 清水書記 |
| 4. 会長あいさつ | |
| 5. 聖句朗読・食前感謝 | 関川祐一郎 |
| 6. 食事・懇談 | 一同 |
| 7. ゲストスピーチ | |
| スピーカー：仙台YMCA担当主事 斎藤勉様 | |
| (1) 子ども達の成長を見守るYMCAのプログラム | |
| (2) ピンクシャツデーのアピール | |
| 8. 諸報告とアピール | 各担当 |
| 9. ハッピーバースデー | 会長 |
| 2/11 姉齒 一紀さん | 2/15 日野 峻さん |
| 2/28 山田和佳子さん | |
| 10. ニコニコ | 会計 櫻井美智江 |
| 11. 閉会あいさつと点鐘 | 会長 日野 峻 |
| 12. ピンクシャツデーアピール | 全員 |

2022年2月25日、例会が開催されました。この日は仙台YMCA担当主事の斎藤勉さんがお話してくださいました。

ワイズメンズクラブは、「YMCAのパートナー」であると、ホームページなどに掲載されています。そして、その始まりは「YMCAの会員増強」を目的としていた、ということです。仙台にいますと、「YMCA」という文字は、比較的「普通」に目に

します。プールが大きな通り沿いにあり、また、「YMCA」と車体に印刷された送迎のバスを見かけることが、よくあるのです。でも、石巻では「よくわからない」という感じが否めません。おそらく石巻広域ワイズメンズクラブの皆さんも、そうではないかと思います。



そんな私たちに、斎藤さんは、YMCAの始まり(1844年英国発祥です)からお話くださり、そして日本でのYMCAの歴史、その中でも仙台の活動を、資料を用いて丁寧にお話してくださいまし

た。とりわけ、「技能実習生」の支援に取り組む阿部文彦さんのお話を昨年聞いた私たちは、「ウオーターセイフティー・キャンペーン」あるいは「着衣水泳」のプログラムを、興味深く伺ったことでした。

遠くないうちに、きっと、石巻でも「YMCAキャンプ」を実施できないか、という声も上がりました。石巻には「YMCA」に響き合う様々な人や活動がある、ということも語り交わされました。新しい年度の始まりを控えて、とてもよい話し合いの時となりました。

2月23日は「YMCAピンクシャツデー」、斎藤さんよりYMCAでの活動の紹介とアピールがありました。ピンク色のシャツは、いじめ反対運動のシンボル、全員でピンク色のチラシを掲げアピールしました。



3月ゲストスピーカーのプロフィール

お名前：千葉 道生 様

神奈川県出身

キャラクター制作会社～広告制作会社勤務後、ワールド・ユース・デイ・ケルン大会2005でテゼの祈りと出会い、フランスやフィリピンの教会で巡礼者たちを受け入れるボランティア活動を始める。東日本大震災後、2011年6月よりカリタス米川ベース(現カリタス南三陸)勤務。2020年3月に一般社団法人カリタス南三陸設立

3.11 追悼と感謝の集い報告（1）

2022年3月11日午後、「3.11 追悼と感謝の集い」が開催されました。「10周年記念礼拝」を2021年3月にみんなで守った、その翌年でした。パンデミックも、続いていました。「今年は、どうしようか」と、なかなか、話し合いが起こらなかった中でした。それでも、被災地を想う心が集まり、小さな灯がまた一つ、リレーされたように思います。

「3.11 追悼と感謝の集い」は、二部構成となりました。

第一部は「阪神淡路大震災から学ぶ、3.11 のこれから」と題して、神戸ポートクラブの大野勉さん、大野智恵さん、山田滋己さんがパネルディスカッションをしてくださいました。私が司会を務め、印象的なお話をいくつかうかがうことができました。

山田さんからは1995年の阪神淡路大震災の被災体験をお話いただき、遠くにいる私たちがあの震災を思い出す機会を頂きました。つまり、私たちも、あの震災を「忘れてしまっている」あるいは「よく知らない」という現実から「今」を見なければならぬということ、学ばせていただきました。

大野勉さんは、95年の震災の中で体験した支援の数々に「恩返しをする」という思いで、日本中どこでも、災害があればそこに駆け付ける、ということが続けておられる中で、2011年3月を迎えたそうです。大野勉さん・智恵さんご夫妻は、このシンポジウムの前日、気仙沼に旧知の方を訪問してくださいました。私と清水ワイズも一緒させていただきました。そこで、この11年間を気仙沼の市街地で過ごされた方と、そのご苦勞の深い部分まで語り合われる大野さんのご様子を、私たちは印象深く拝見したことでした。そうした人とのつながりを作り続けること、温め続けること。それが、大きな支援なのだと、お話を伺いながら感じ入った次第です。

大野智恵さんは、1995年と2011年の二つの震災を通して、人間の回復する力について語ってくださいました。95年の震災の直前、ご家族に大きなご不幸があり、仕事もお休みせざるを得なかった中で、智恵さんは阪神淡路大震災を経験された。そして、破壊された神戸が復旧して行く、その歩みを共にするようにして、ご自身もまた、立ち上がっていかれた。その体験を大切に、2011年の震災を神戸から見つめ、そして今も、東北の被災地にかかわってくださっています。

シンポジウムの話題は「風化」に移っていきました。例えば大野勉さんが何度も出かけて行く。それを見送る立場の智恵さんもいる。そして、会社員としての責任があって、頻繁にボランティアに出られない山田さんもいる。「そこには温度差も生まれるでしょう、そして、申し訳ない思いとか、わかってもらえない苛立ちとか、そうしたものも出てくるのではないのでしょうか。」ということ、私からお伺いしました。大野勉さんは、素早く力強く、「私は一人で行くではありません。多くの人に押し出されて、つながりの中で出かけて行き、そしてそのつながりの中に帰って報告する。みんなでやっているのです。風化は、ありません」と、答えてくださいました。なるほど。「石巻広域クラブ」も「小さな大野勉さん」になって、みんなと繋がるために、ここに建てられているのだ。そう思われました。

第二部は、石巻市渡波地区で今も支援活動が続いている高本エリック宣教師のメッセージを軸にした記念礼拝を致しました。2時46分になるサイレンに合わせて黙祷し、そして聖書の言葉を味わう。心に染み入るピアノ伴奏を、今回も金指崇先生が担当くださいました。東京YMCAや仙台YMCAの関係者をはじめ、たくさんの方が、オンラインで参加してください、心を合わせることができました。

12年目の被災地に、そんな励ましをいただいて、私たちはまた出て行く。幸いな時でした。感謝を込めて、ここに報告いたします。(川上直哉記)



写真左：高本エリック宣教師 写真中央：14時46分、参加者サイレンに合わせて黙祷 写真右：参加者一同

3. 11追悼と感謝の集い報告(2)

■プログラム

<第一部:13:00~14:15>	<第二部:14:30~15:15>
追悼と感謝の会	記念礼拝
場 所 YMCA 石巻センター 司 会 清水 弘一 奏 楽 金指 崇	場 所 YMCA 石巻センター 司 式 大林 健太郎 奏 楽 金指 崇
1. 開会点鐘 2. ワイズソング 「いざ立て」 3. 主催者あいさつ 4. 来賓あいさつ (1) 一般社団法人ワイズメンズクラブ国際協会東日本区 理事長 大久保知宏 様 (2) 公益財団法人 仙台 YMCA 総主事 村井 伸夫 様 5. 記念プログラム (1) 「阪神淡路大震災から学ぶ、3.11 のこれから」 パネラー：神戸ポートクラブ 大野勉、大野智恵、山田滋己、園田将人 ファシリテーター：石巻広域クラブ 副書記 川上直哉 (2) 復興応援歌 「復興の道へ灯(ひ)を点(とも)す」の紹介 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> 作詞・作曲 / 大林 友子 編 曲 / 金指 崇 歌 / 川上 直哉 </div> 6. 出席者の紹介 (オンライン参加者も含む) 7. YMCA の歌 8. 閉会点鐘と挨拶 4 ワイズメンズクラブ連絡会議代表	1. 着席 2. 前奏 3. 招きのことばと祈り 4. 黙祷 (地震発生時 14 時 46 分に合わせて) 5. 讃美歌 298 番 「やすかれわがこころよ」 6. 聖書朗読 ヘブライ人への手紙第 12 章 1~3 節 7. 讃美歌 187 番 「主よいのものことばを」 8. メッセージ Be-1 教会 宣教師 高本エリック 題：「壁を壊す神様の愛」 9. 頌栄 541 番 10. 祝祷 11. 後奏



■聖句 (ヨハネによる福音書第 1 章 14 節)

ことばは人となって、私たちの間に住まわれた。私たちはこの方の栄光を見た。父のみもとから来られたひとり子としての栄光である。この方は恵みとまことに満ちておられた。

■復興応援詩の紹介 (作詞・作曲/大林 友子 編曲/金指 崇 歌/川上 直哉)

「復興の道へ灯(ひ)を点(とも)す」



石巻南浜津波復興記念公園

一、千年に一度と云えし震災に
日々心の戦いは
この大難を乗り越えて
支援の友々の激励は
やがてあの街この市も
復興の道へ灯を点す

二、失望と夢はかなき現実の
苦難の道は遠けれど
歳手 数多 愛の手に
強く生きよう 頑張ろう
やがてあの街この市も
復興の道へ灯を点す

大林友子：石巻市出身、1928 年生まれ。小学校の教員を務めた後、80 歳まで華道の教授として活躍。復興応援詩は 2012 年に石巻専修大学と石巻市女高(現石巻市桜坂高)が募集した石巻の再生を願う「復興応援詩」に応募し、全国から寄せられた作品の中から 2 位に当選し、その後、自ら作曲も手がけた。石巻広域ワイズメンズクラブ大林健太郎ワイズのご母堂。

2022年3月拡大役員会報告

日 時 2022年3月11日(金) 16:30~17:30

場 所 YMCA 石巻センター

出席者 日野峻、大林健太郎、川上直哉、清水弘一
櫻井美智江、斎藤勉

1. 開会点鐘 日野会長
2. ワイズソング 一同
3. 会長あいさつ 日野会長
4. 軽食

5. 報告事項

(1) 2月第一例会報告

日 時 2022年2月25日(金) 18:30~20:30

場 所 石巻センター

出席者 青木(Z)、川上、大林、斎藤、櫻井、清水、
関川、日野、千葉直美(MC)

内 容 ①子ども達の成長を見守るYMCAのプログラム
②ピンクシャツデーのアピール

(2) 3.11 追悼と感謝の集い開催報告

日 時 2022年3月11日(金) 13:00~15:15

追悼と感謝の会 13:00~14:00

記念礼拝 14:25~15:15

場 所 YMCA 石巻センター(旧栄光幼稚園)

参加者 追悼と感謝の会 17名、記念礼拝 21名 計
38名、オンライン参加者 40名

(3) 思い出のランドセルの発送作業について

・新型コロナ感染拡大の影響で延期になっていた
ジョイセフ横浜倉庫への運搬については、3月13
日~14日に実施する予定。(東北ヘルプ川上・中
澤ワイズが担当)

(4) DBC 神戸ポートクラブからの支援金受領について

6. 協議事項

(1) 2022年3月第一例会の開催について

日 時 2022年3月25日(金) 18:30~20:00

場 所 石巻センター

内 容 ゲストスピーカー 一般社団法人カリタス
南三陸 千葉道生氏
テーマ:「Ubi Caritas」

(2) 3.11 こども文庫の開催について

日 時 2022年3月12日(土) 13:30~15:00

場 所 石巻センター

内 容 読み聞かせ本:①「まつのこ ピノ」 ②「り
んごのおじさん」 ゲーム:新聞じゃんけん
その他 チラシの配布状況について

(3) YMCA ストレッチヨガの開催

日 時 2022年4月6日(土) 10:00~11:00

場 所 市営新蛇田集会所

募集人員 コロナ対策のため10名限定

(4) 石巻と神戸を繋ぐチャリティーコンサート開催の
準備状況について(確認)

日 時 2022年4月30日(土) 13:30~15:30

場 所 カフェ Quincy2 階ホール(自分の木)の検討

出演者 石巻会場出演者の選定

①好文館高校吹奏楽部(内託) 担当:川上(開場
までの交通手段、曲目等の打合わせ)

②石巻少年少女合唱団(内託) 担当:青木副会長

③「復興応援詩」の歌 担当:川上(事前練習3
月、4月例会で全員で行う)


(5) 5月例会ゲストスピーカーについて

NPO法人 ひたかみ水の里 代表理事 新井高広氏

(6) 年会費の納入のお願い 櫻井会計より

7. 閉会あいさつと点鐘

日野会長



YMCA 報告

担当主事: 斎藤 勉

1. 2021年度レギュラープログラム終了
・コロナ禍の中、様々なプログラムが縮小や中止と
いう形を取りながらも、3月21日をもって全て終
えることができました。
2. 春プロ開始
・3月25日から4月6日まで春プロが行われます。
キャンプに関しては縮小した形での運営となりま
すが、プール(集中水泳)に関しては例年通り運
営で実施します。
3. ボランティア感謝会
・3月20日(日) 13:30~14:15の時間で、立町
会館4階ホールで行われました。
4. 2022年度レギュラークラス開始
・4月9日(土)から2022年度レギュラークラス1
期がスタートします。コロナ禍でまだまだ大変な
時期ではあります。

お知らせ

木村純ワイズのご尊父 征逸様が3月5日に永眠さ
れました。謹んでお悔やみとご冥福をお祈り申し上
げます。なお、クラブを代表して日野会長に弔問し
ていただきましたのでお知らせ申し上げます。

